

姫路駅北駅前広場の整備

姫路駅北駅前広場の
平面レイアウト



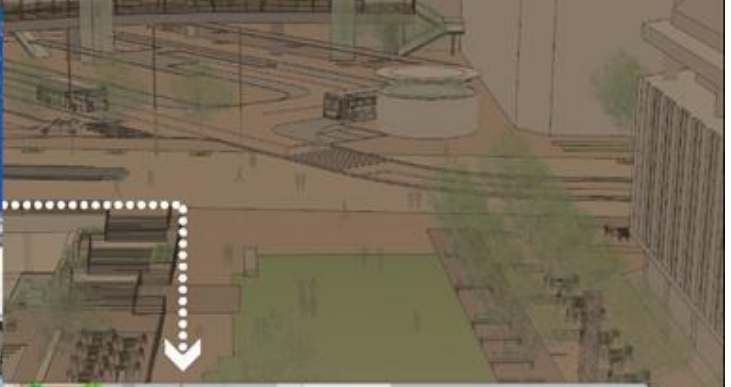
播磨の中核都市・姫路の新たな玄関口となるエントランスゾーンの整備については、現在の駅ビルを今より約40m南に移転させ、その跡地に、現在の北駅前広場の約2.5倍の広さの新たな駅前広場を整備することにより、鉄道とバス・タクシーがスムーズに乗り換えができるようになることともに、駅前に集まる人々に対するくつろぎの空間を創出します。

現駅ビルの撤去跡地には、サンクンガーデンを整備します。サンクンガーデンは、リニューアルされる既存の地下街とJR西日本が計画しているJR新駅ビルの地下一階を接続し、水や緑を配置することにより、ゆとりとにぎわいのある空間形成を図っていきます。

姫路駅北駅前広場周辺の整備スケジュールは、平成23年から現駅ビルの解体工事を行いながら、JR新駅ビルの建設工事に着手する予定になっています。

北駅前広場は、駅ビルの撤去やJR新駅ビルの建設工事と平行して、平成23年度に本格着手し、まず、サンクンガーデンの整備に取り掛かり、平成25年度末の広場全体の完成を目標に整備を進めていきます。

また、現在、姫路駅の北側を通過している一般車は、内々環状道路を通行することとし、十二所前線より南の大手前通りは、一般車の通行を制限することとしており、平成24年度頃から工事に伴う一般車の通行制限が始まる予定となっています。



完成予想図



姫路駅北駅前広場の整備イメージ(今後、変更される場合があります。)



サンクンガーデンの整備イメージ(今後、変更される場合があります。)

※現時点でのデザインです。今後の協議により色彩等が変更になる場合があります。

ゆとりとにぎわいの ある空間形成



サンクンガーデンと一体となった広場空間の整備イメージ(今後、変更される場合があります。)



眺望デッキの整備イメージ(今後、変更される場合があります。)



歩行者や公共交通機関を
優先した人に優しい空間へ



大手前通りの整備イメージ(十二所前線より南は、一般車の通行を制限します。)

姫路駅北駅前広場等の整備スケジュール（予定）

年度	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26以降
フェスタビル南館	工事				
現駅ビル		解体工事			
JR新駅ビル(計画中)		(JR西日本において計画中)			
北駅前広場		工事			
大手前通り (十二所前線以南)			工事施工に伴う一般車の通行制限		一般車通行制限

※現時点でのデザインです。今後の協議により色彩等が変更になる場合があります。